

令和3年度第76回国民体育大会関東ブロック大会バスケットボール競技

新型コロナウイルス対策ガイドライン

1) はじめに

「令和3年度第76回国民体育大会関東ブロック大会バスケットボール競技新型コロナウイルス対策ガイドライン」(以下、本ガイドライン)は、JBA(公益財団法人日本バスケットボール協会)「バスケットボール活動再開に向けたガイドライン第2版」および、栃木県実行委員会・各都県教育委員会ガイドライン等を参照し、作成しております。

2) 感染対策チーム責任者の設置

・参加チームは感染対策チーム責任者を設置してください。

<大会前日までの対応>

・感染対策チーム責任者は、大会への不参加が決定された場合、以下の連絡系統で報告する。
各チーム → 所属各都県協会 → 本大会運営委員長(鈴木) → 実行委員会

※まずは電話で連絡

※不参加が決定した場合は、即日所属各都県協会に連絡。その後大会運営委員長に連絡。その後の対応を、大会運営本部から指示する。

<大会参加後の対応>

・感染対策チーム責任者は、大会後にチーム内で陽性者が発生した場合、以下の連絡系統で報告する。
各チーム → 所属各都県協会 → 本大会運営委員長(鈴木) → 実行委員会

※大会本部は管轄保健所からの指示について所属各都県協会及び該当チームの感染対策チーム責任者へ報告する

・感染対策チーム責任者は日常のチーム活動において健康チェック、検温を選手やスタッフが行うことを管理し、陽性者や濃厚接触者が発生した際の保健所との情報連携を行う担当となることが求められます。感染してから対応を考えるだけでなく、いかにして陽性者を出さないようにするか対応を行うことに留意してください。

<大会会期中の対応>

※ JBA から出されたものを優先する

3) 選手・スタッフ・大会関係者・役員等の大会参加について

【参加資格】

(1) 選手、チームスタッフは大会2週間前から当日において、以下に該当しないこと。

[チェックシート該当なしのチェック項目にすべてチェックがつくこと。]

1. 平熱を超える発熱がない。(ただし、当日は37.5℃以上発熱がある場合は、入場できません)
 2. 咳(せき)、のどの痛み、などの風邪症状がある
 3. だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難が)がある
 4. 臭覚や味覚の異常がある
 5. 体が重く感じる、疲れやすい等がある
 6. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
 7. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
 8. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある
- ※上記に該当した際は、大会に参加できません。

【その他通知要項】

- (1) 大会への出場権を得たチーム・選手は、大会が定めるガイドラインの各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。
- (2) 各チームの新型コロナウイルス感染対策責任者は、大会当日に「体調管理チェックシート」(入場するチームスタッフおよび選手分)と「参加者体調確認書」を受付で提出し、IDカードを全員分受け取り配布する。IDカードを首から下げて、体育館内の検温場所に移動する。

非接触型体温計で入場前に検温をし、37.5℃未満でなければ入場ができない。

検温結果が37.5℃以上の者については、時間を空けて接触型体温計で検温を実施し、37.5℃未満であれば入場することができる。再検温の結果が37.5℃以上の者がいる場合は、感染対策チーム責任者は、所属都県協会および大会本部(運営委員長)に速やかに連絡し大会の可否を確認する。 検温結果に問題がなければ、会場への入場許可(リストバンド)をもらって入場する。(リストバンドは常時IDカードにつけておく)

- (3) 「上記【参加資格】の(1)」の事項を含め、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した際は、試合中であつたとしても出場資格を取り消す場合がある。
- (4) 出場する試合の2週間前において、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した場合は、その者の来場と試合への出場を不可とする。加えて当該チームの感染対策チーム責任者は、前述の体調不良者との濃厚接触者を確認し、大会本部と協議のうえ、非接触者と断定できる選手が5名以上揃わない場合は不戦敗とする。また、体調不良者が発生した後で、保健所等の判断を仰ぐにあたり、その後の大会運営等に大きな支障をきたす場合は大会を中止する場合がある。
- (5) 政府や都県から新たな措置(緊急事態宣言や自粛要請等)が発出された場合は大会を中止する場合がある。また不可抗力により、出場チームから辞退が発生した際は、不参加チーム数が8チーム以上に至った場合のみ、大会主催者にて大会中止を検討し、中止可否を決定後、速やかに参加チームに通知する。

※大会を中止する場合の要件

- ・中央競技団体及び栃木県等から大会開催不可等の指示が出された場合。

- ・三重国体の中止が決定した場合

4) 大会開催期間中における対策ならびに留意点

- (1) 無観客で実施します。
- (2) バスケットボールを行う上での感染対策を行うと共に、会場内では更衣場所、ベンチ等、他のチームも利用する場所の除菌には十分留意してください。
- (3) 各チームの入場口は、メインエントランスとする。入場前にエントランスの外で下記チーム代表者1名により受付をお願いします。チーム責任者は体調管理チェックシート（スタッフ・選手全員分）と参加者体調確認書を受付で提出し ID カードを受け取ってください。ID カードを各自首から下げエントランスから入場し、検温をしてください。検温が終了したもののから検温済証明（リストバンド）を受け取り ID カードにつけ、手指消毒後入場してください。
- (4) 会場には**指定された受付時間**から入場できます。ハーフタイムのアップはできません。コートへは、前の試合が終了し、ベンチエリアの消毒と前のチームがコートから退場した後、役員の指示に従って入ることができます。チームや各自の荷物は全て持って、移動するようにしてください。フロアレベルに降りることができるのは、エントリーされた選手・マネージャーとスタッフのみです。
- (5) **試合前のコート上でのアップは最低20分確保します。**
ウォーミングアップについては、サブコートの空いているスペース（8分割してあります）を使って行ってください。ボールを使用したウォーミングアップは禁止します。
- (6) 試合が終了したら、速やかに荷物をもって退場するようにお願いします。
<勝ち残り、試合があるチーム>
試合終了後、Aコート奥のGATE3より退出し、階段で2Fに上がり、2FA・Bコートエンドの待機選手席に間隔を空けて座ってください。
<試合がないチーム>
試合終了後、B・DコートTO席後ろのGHATE1・2より退場してください。
そのまま通路を歩いてメインエントランスから退場となります。

通路の途中に、2か所更衣室がありますので、更衣される場合には無言で速やかにお願いします。

- (7) マスクはチームまたは個人で持参し、使い捨てマスクの場合、使用後は全てのごみとともにビニール袋に入れて持ち帰ってください。なお、コート上の競技以外の場所等でのマスク着用（受付・更衣・応援等）にご協力ください。
- (8) 消毒用アルコールは主催側でも用意しますが、参加チームでも用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や、使用用具の消毒を実施してください。
- (9) 会場内での食事はしていただいて結構です。食事をする場合、会話はせず、密にならないよう隣の人との距離をとるようにしてください。

- (10) 試合前、試合後に相手チーム、審判との握手・あいさつは実施しません。また、ハドル、円陣を組むこと、ハイタッチ、抱擁はしないでください。
- (11) 倒れた選手に手を貸さず、ドクターやスタッフの指示に従ってください。
- (12) ボトル、タオルを共有しないで各自で用意、使用してください。
- (13) ベンチではマスクを着用し、応援・会話を控えてください。
- (14) サイドライン/ベンチにおいても適切なソーシャル・ディスタンスを確保してください。

5) 体温チェックシートの記録と管理

・チームスタッフ、選手等本大会の参加者は、大会が開始される2週間前から「健康チェックシート」で健康状態を観察・記録する必要があります。感染対策チーム責任者は管理を行ってください。

※会場に入場する選手・スタッフ全員の体調管理チェックシートと参加者体調確認書の提出が必要になります。

※体調管理チェックシートの無いにチェックがつかない場合、当日の体温が37.5℃を越える場合、体調に少しでも不安がある場合は、該当者の出場を見合わせ、大会運営委員長まで御報告ください。

※御報告頂いた内容・御相談内容を関係者に共有する場合には、必要に応じて個人情報を取り除いた上、共有させていただきます。

【体温測定、体調チェック】

体温測定：選手、チームスタッフ、審判、関係者、スタッフは必ず毎日実施してください。

6) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)のダウンロードの推奨

・本大会参加者は8月7日(土)(大会開催2週間前)までに、厚生労働省が開発した陽性者との接触を確認するためのアプリで(COCoA)をインストールし、陽性者との接触が無いか確認することを推奨します。参加者がCOCoAによって濃厚接触者と発覚した場合は、感染対策責任者は上記の連絡系統を参照し、連絡してください。

【参考】厚生労働省:新型コロナウイルス接触確認アプリ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

7) 「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策

・マスクの着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。

※TOは全員マスク着用。ベンチではコーチ・選手ともにマスクを着用する。

- ・手指消毒液など、試合や練習では広く使用できるように準備し、頻繁に手洗いを実施する。
- ・スポーツ施設・用具器具、その他の備品も頻繁に消毒する。

※バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性があるとしてされていますので、指定ボールメーカーの「お手入れ方法」に従い実施する。

- ・試合前後、試合中の選手同士や、スタッフとの握手、ハイタッチ等の接触は避ける。審判も同様。
- ・タオルの共有はしない。
- ・ボトルのまわし飲みをしない。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。
- ・会場等で発生したゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用してください。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄してください。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。チームで発生したごみは各チームで持ち帰ってください。

(1) 諸室

使用する諸室等において、以下の対応を行います。

- ・各部屋に手指消毒液を設置する。
- ・全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ・座席を設置する際に前後左右1.5m～間隔を空け、お互いが正面に座らないよう配慮する。
- ・喫煙所は設けない。

(2) 手洗い場所・トイレ

参加者や関係者が手洗いをこまめに行えるよう、以下の対応を行います。

- ・便器のふたを閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する。

(布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない。)

- ・手指消毒液を設置する。

(3) 更衣室・ロッカールーム

3つの密が揃うため、感染リスクが比較的高くなります。以下の準備を行います。

- ・広さにはゆとりを持たせ、利用者同士が密になることを避けること。
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する、別室を用意するなどの措置を講じる。
- ・室内またはスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については消毒する。
- ・換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を常時開放して換気を行う。
- ・利用者はロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。使用中の会話は控える。

8) 出場チームへのお願い

(1) 「陽性者」・「濃厚接触者」・「体調不良者」が発生した場合の大会参加の可否については、原則、所属各都県協会に判断を委ねる。

- ・大会までに陽性者の回復、濃厚接触者の隔離期間解除がなされない場合
- ・出場チームに感染疑いが生じて安全性の判明が間に合わない場合
- ・大会中に出場チーム（対戦相手チームの場合もある）に濃厚接触者や感染疑いが生じた場合
- ・大会中に出場チームに 37.5 度以上の発熱者および COVID-19 を考慮する症状を有する者が生じた場合
- ・対戦済みの相手チームに感染疑いが発覚した場合

ただし、これに関する詳細なレギュレーションは JBA 作成の「三重国体バージョン」に準ずるものとする。

(2) 大会終了後、出場チームは、選手及びスタッフの健康観察に努める。大会終了後 2 日以内に「陽性者」・「濃厚接触者」が発生した場合、所属各都県協会ならびに大会運営委員長（鈴木）へ速やかに報告すること。詳細の対応については、保健所の指示に従って行う。

【大会運営委員長】

鈴木克美（栃木県バスケットボール協会）
090-3224-7876

【感染対策責任者】

高橋哲夫（関プロ運営副委員長）
090-1062-0020

【感染対策副責任者】

日向野信行（関プロ総務委員長）
090-8814-1413

大会第1日目の一日の行程（チーム用）※会場到着から退場まで

- ①各チーム会場に到着したら、感染対策チーム責任者は体調管理チェックシート(スタッフ・選手全員分)と参加者体調確認書を受付で提出し全員分のIDカードを受け取ってください。IDカードを受け取った方から入場し検温を実施、その後、検温証明書(リストバンド)を受け取り、それを自分のIDカードにつけて館内にお入りください。その際、下足から体育館シューズに履き替える場所がありますので、そこで靴を履き替えてアップコートのサブアリーナに向かってください。入館する際は、手指消毒を行ってから入館をお願いします。

受付場所：メインエントランス 外

受付時間：第1試合のチーム 8：15～ 8：45（トスアップ 9：30）
第2試合のチーム 9：30～10：00（トスアップ 11：20）
第3試合のチーム 11：20～11：50（トスアップ 13：10）
第4試合のチーム 13：10～13：40（トスアップ 15：00）
第5試合のチーム 15：00～15：30（トスアップ 16：50）

↓

- ②受付の終了したチームは、アップコートのサブアリーナに移動しアップを開始してください。コートが8分割されていますので、空いてるコートでアップを行ってください

↓

- ③アップコートで待機し、その後試合コートが開き次第、試合会場への移動となります。その際は、役員の指示に従い、エントリー選手およびスタッフは、荷物を持ってコートへ移動してください。

ただし、第1試合のチームは入館後そのまま試合コートに入ってください。

第2試合目以降のチームは、前の試合が終了し、ベンチエリアの消毒が済み、試合したチームがコートから退場した後、役員の指示に従って、コートの方へ移動してください。

↓

- ④試合前のアップ終了後（最低でも20分間のアップ時間を確保する予定です）、試合を実施。（ベンチではマスク着用、ハドル禁止、声出しは控える）

↓

- ⑤試合終了。荷物を持って、各チーム移動。

その日に試合が残っているチーム・・・2Fの待機場所へ（Aコート奥のGATE3より）

その日に試合がないチーム・・・速やかに退場（B・DコートTO席後ろのGATE1・2より）

退場場所は、入口と同様の場所になります。

↓

- ⑥第3試合・第4試合に出場するチームは、前の試合が終了後速やかに1F試合コートに移動

※ 2F観客席は一方通行となっていますのでご注意ください（会場内、反時計回り）

大会第2日目の一日の行程（チーム用）※会場到着から退場まで

- ①各チーム会場に到着したら、感染対策チーム責任者は体調管理チェックシートと参加者体調確認書(ともに2日目)を受付で提出し、IDカードを首から下げて入場し検温を実施後に検温証明書(リストバンド)を受け取り、それを自分のIDカードにつけて館内にお入りください。入館許可後は、手指の消毒を行い前日と同じ流れで移動して下さい。

受付場所：メインエントランス 外

受付時間：第1試合のチーム 8：30～ 9：00（トスアップ 10：00）
第2試合のチーム 10：00～10：30（トスアップ 11：50）



- ②受付の終了したチームは、アップコートのサブアリーナに移動しアップを開始してください。コートが8分割されていますので、空いてるコートでアップを行ってください



- ③アップコートで待機し、その後試合コートが開き次第、試合会場への移動となります。その際は、役員の指示に従い、エントリー選手およびスタッフは、荷物を持ってコートへ移動してください。

ただし、第1試合のチームは入館後そのまま試合コートに入ってください。

第2試合目以降のチームは、前の試合が終了し、ベンチエリアの消毒が済み、試合したチームがコートから退場した後、役員の指示に従って、コートの方へ移動してください。



- ④試合前のアップ終了後（最低でも20分間のアップ時間を確保する予定です）、試合を実施。（ベンチではマスク着用、ハドル禁止、声出しは控える）



- ⑤試合終了。荷物を持って、各チーム移動。

その日に試合が残っているチーム・・・2Fの待機場所へ（Aコート奥のGATE3より）

その日に試合がないチーム・・・速やかに退場（B・DコートTO席後ろのGATE1・2より）

退場場所は、入口と同様の場所になります。



- ⑥第3試合・第4試合に出場するチームは、前の試合が終了後速やかに1F試合コートに移動

※ 2F観客席は一方通行となっていますのでご注意ください（会場内、反時計回り）

昼食は原則2F待機場所で密を避け、会話をせずにとるようにしてください。（ごみは各自持ち帰ってください）



- ⑧試合終了。

第2試合・第3試合終了後Bコートで認定証授与式を行います。選手の皆さんは指示に従って整列してください。ただし、状況によっては試合終了後代表者のみ参加で認定証を授与する場合があります。